

自然と活力に満ちた個性ある豊かな金華のまちづくりをめざして……

# 金華まちづくり



発行/金華のまちづくり協議会広報部会/1989年6月4日創刊/事務局/岐阜市木造町24株タツ内・Tel.058-264-0824



## 8月28日(水) 午前10時～11時30分 中大桑町まちづくりの蔵

### 金沢市まちづくり協議会 金華のまちづくり協議会 交流会開催

### テーマ■地域コミュニティづくりと寺院の役割

私たちの住む都市は、発展し近代化をたどる一方、美観や文化など、環境の質的充実が求められているとともに、人々の価値感が多様化し、従来の画一的なまちづくりから地域文化や伝統を活かした個性あるまちづくりが求められている。

そんな折、「寺町」を持つ金沢市の提唱により、この寺院を活かしたまちづくりが得意ないかと課題の提起、研究意見交換をすることで魅力的なまちづくりに資することを目的とした「寺院群都市会議」が平成6年に結成された。

同会議は、毎年1回、構成都市が持ち回りで、「寺町サミット」を開催し、本年は、8月27日、本願寺岐阜別院で開催される。翌28日にはサミット参加者による金華のまちづくり協議会の視察があり、協議会の蔵では、金沢市まちづくり協議会との交流会も開かれる。

地域社会で寺院が果たしてきた拠点機能・役割は、近年徐々に失われつつあり、かつての子どもの寺小屋的教育の場は、学校や進学塾などに取ってかわり、集会場や広場など地域コミュニティの場は、公民館や公園などの公施設に移行していった。また、寺院の周辺に発展した商業集積「門前町」も参拝者の

減少とともに賑わいを失いつつあるのが現状である。

しかし、都市化が進み、空き地や自然が減少するなかで緑におおわれた寺院の境内は都市の緑化や防災面から見ても注目されるようになってきた。また、高齢化が進展する今日、地域の老人たちの身近な「憩いと交流、ふれあいの場」としても寺院は見直されつつある。さらに、生き甲斐や心の充実を求める生涯学習の場としても寺院は大きな期待が寄せられている。幸い、金華校区には、35の寺院と2つの神社があり、そこには地域コミュニティの活動が芽ばえ、大仏フェスティバルをはじめ、伊奈波音頭盆踊りの復活、岐阜まつり宵宮の復活など地元住民による寺院、神社を核としたまちづくりが行なわれつつあり、その成果を見ることができている。

### 27日又サミット

●基調講演 (13時30分から)  
ペマ・ギャルポ氏

〔演題〕チベット仏教文化圏及びアジア仏教諸国に見る寺院と地域の関わり

●サミット (14時30分から)  
コーディネーター 加藤 晃氏  
パネリスト  
飯山市長 小山邦武氏

### 28日水交流会

(10時15分から)

司会 加納宏幸氏 (歴史博物館長)  
金華のまちづくりの「蔵」で、金沢市まちづくり協議会と金華のまちづくり協議会の交流会が開催され、その活動状況を語り合う。また、当日は、サミット参加の7市長ら関係者の視察とTV収録があり全国放映が組まれている。

金沢市まちづくり協議会は野町公民館活動を中心に、お寺と共存の街」として活動している。野町校区には約50の寺があり、この寺と地域が共存し、緑ある街づくりをめざしている。活動は、寺院を回る「街角ウォッチング」や「鐘の音の復活」などの事業を展開している。

### 大仏フェスティバル

正法寺の大仏は、天保3年に建立された。経文の和紙をはり、粘土、漆、金箔でできた日本三大仏の一つ「かご大仏」で、この文化財を中心に郷土を見直し、地域のコミュニティづくりと三世代交流を柱に地元住民のふれあい広場が生まれた。昔遊びや盆踊り、中でも地域住民の老若男女が描く行燈の絵は、ローソクの灯とともに、素敵な心の交流を深め、山口行夫実行委員長のもと今年で9年目、地域に定着した活動である。



### 伊奈波音頭盆踊り

「岐阜の伊奈波さま五穀の護り、五穀実れよ世は穏やかに……」と歌われる野口雨情作詩の伊奈波音頭の楽譜と録音テープが伊奈波神社で見つかった。地元の五十川清二初代実行委員長)らは、その復活に努め、平成5年のお盆に三喜流日本舞踊師範三喜久千峰さんの振付けの協力を得て



### 岐阜まつり宵宮

かつては伊奈波神社の宵宮は、岐阜市民の祭りとして大変な賑わいを見せていたが、衰退の一途をたどり名ばかりの祭りとなっていた。そんな中、昭和63年、地元神輿による宵宮復活が試みられた。そして、市民の要望もあり岐阜まつりの開催日も従来の4月4、5日から4月の第1土曜日、日曜日開催に平成8年度から変更され、神輿による祭りの復活は、岐阜神輿連も結成され、宵宮の大きな力となっていた。

地元民による宵宮実行委員会(吉田豊委員長)の結成は伊奈波神社はもとより、岐阜

市の支援も整い、参道には岐阜提灯組合二日会の寄贈による祭り提灯が各戸の軒先に下げられ祭りの夜景をつくり出していった。伝統の踊り山車清影車、安宅車、蛭子車ら4台の山車の灯も提灯と金華の神輿、木造「町神輿」、岐阜木材青年会の神輿、岐阜神輿連の神輿、長良高見・中野の神輿、それに女性神輿の「心女」、松阪市からは祇園三社みこしの参加があり、一挙に3万人の人数となった。

伊奈波神社広場に設置した宵宮会所には、梶原拓岐阜県知事、浅野勇岐阜市長をはじめ、議会、商工会議所のお歴々が祭りを総見、神輿練りコンクールも行われ、祭りの粋がもどった岐阜まつり宵宮ができた。来年の祭りがより期待される。



### 金華35寺めぐりマップ発行!

金華のまちづくりマップ第2号「金華35寺めぐり」を発行しました。9月15日敬老の日から、ご近所のお寺に用意しましたのでご利用ください。

# 第4回「ミニシンポジウム」金華まちづくりの方策と実践 身近なテーマを設定して 誰でも受け持てることを



講師 吉田 薫

3月3日、金華のまちづくりの蔵で、「金華まちづくりの方策と実践」のテーマでミニシンポジウムが開かれた。金華のまちづくりは、昭和63年岐阜市都市計画部の岐阜市既定市街地再整備基本構想における金華校区の整備方針を検討する中、平成元年、住民主体で「金華のまちづくり協議会」が発足した。

岐阜市建築部は、平成元年人口定住化策を目的としたHOPPEホープ計画の地域住宅計画を策定し、その実現に向け、モデルスタディー地区として金華校区を定めた。以後2年にわたり住民の参加によ



吉田薫講師プロフィール：  
1950年生まれ、大阪在住で株式会社COM計画研究所取締役・総括研究員として、豊中市まちづくりアドバイザーを兼任。技術士(都市及び地方計画)の資格を持つ。  
現在、近江八幡市総合発展計画や、法隆寺のある奈良県斑鳩町都市計画マスタープラン・景観形成等の業務に携わる。また、神戸市元町・大阪梅田茶屋町などで、住民参加のまちづくりを専門家コンサルタントとして支援、協力している。  
岐阜市においては、最初といわれる住民参加型まちづくり「金華のまちづくり」のための行政調査計画作業に参加。それを契機に金華校区の皆さんとも馴染みが深い。

るワークショップは、「住まいづくり8つの約束」として発表され、協議会の総会で承認された。これを基本に住まいの在り方が提案され、平成4年に専門家集団による「金華まちづくり研究会」が組織され、協議会の専門分野の充実がはかられ、本格的なまちづくりの展開機能が構築され、新しいまちづくり活動の領域が広がった。

このような住民と専門家、行政の三者が一体となったまちづくり構想は、金華の歴史と自然、その特色を活かすつ、今日の高齢化社会における都市の衰退問題に真向から取り組んだ、今日の最先端問題を取りあげた壮大なまちづくりとなったのである。

そこが、また、全国的に注目を集める珍しい形のまちづくりといえるのである。

反面、8年目を迎えた協議会活動が、そのために地元住民に見えにくいという結果を招いている。

吉田氏は先の阪神大震災で貴重な体験をされ、また復活のまちづくりでも神戸でご活躍中で、その経験やそれから得た教訓をお話いただいた。

も生じる。そこで、資源や財産の選別をどのような共通認識で作業していくのか、家族をはじめ住民のコミュニケーションが必要となる。やる、やらないといった二者択一ではなく内容を議論する場をつくり、考えることを問われているまちづくりでもある。

●まちづくりの意義  
平均点を少しでも上げることにある

●金華のまちづくりの特性  
住民が主体!

このまま進めば確かに「きれい」になるが、それは平均的なものにはかならない。この平均的ということが、金華校区の他の場所と与える影響を真剣に考えてほしい。

●小ざい「ミニ」ミニ  
まちづくりが決め手

●各分野の専門家を  
まちづくりに活かす

●実践の推進ポイント  
各論を展開して  
戦略を共有すること

●「まちづくり係」が  
岐阜市に誕生!

●「まちづくり係」が  
岐阜市に誕生!

**金華の街角**

日本の心を伝える  
伝統的工芸品  
「岐阜提灯」

提灯の老舗として本町2丁目にある浅野商店は、ウカイ印の商標で、その伝統豊かな芸術性は、校区を代表する伝統産業店の一つです。

盆用提灯  
装飾用提灯  
宣伝用提灯  
ひな人形

岐阜ウカイ印製造本舗

**株式会社 浅野商店**

本社 / 〒500 岐阜市本町2-25  
工場 / 〒500 岐阜市上竹屋町21  
TEL 058-265-3011 代表  
FAX 058-262-1155  
●日曜日定休日

の2冊の冊子をよく読み返して、何を目的にしているのか、最確認を一度してほしい。

「まちづくり係」が  
うれしいことに、岐阜市の都市計画課に「まちづくり係」ができた。このことも協議会8年の頑張りのおかげと自負できるし、まちづくりを行政組織に認定してもらおう入口にやっとなどついたといえよう。

そういう意味からいっても、まちづくりに必要であれば、行政のHOPPE計画などのような制度やしきみ、基準を進んで活用したり、都市景観条例や屋外広告物条例などを活用して、まちづくりの実現に活用したい。そのために行政も情報を積極的に協議会に提供すれば、住民と行政とが太いパイプで結ばれ、そこに信頼関係も培われて素晴らしい金華のまちづくりができること確信しているので頑張っています。と講演いただいた。

なお、講演テープがご入用の方は、協議会事務局までお申し出ください。

# 末広町南組に まちづくり憲章！



末広町南組  
自治会長  
安藤喜一

「自分の住むところは自分で守る」とまちづくり構想が提案され、木造町東組に「まちづくり憲章」が平成3年に制定された。以来、他の町会での憲章づくりは進まなかったが、平成8年4月、末広町南組（安藤喜一自治会長）にまちづくり憲章が誕生した。安藤自治会長は、金華のまちづくり構想に沿い、住民として、その先導的役割を担ったマナーの向上を中心としたゆるやかな規制のない憲章づくりに努めたと語っている。同町の課題別整備事項は、

- ① 地域コミュニケーション活動の振興。
- ② HOPE計画と連動したルールと調和した住まいづくり「新町家づくり」を検討。
- ③ 観光駐車場の適地を確保、整備するとともに一方通行規制の見直し。
- ④ 町の緑化の促進。
- ⑤ わが町「再発見」活動の展開の5項目を目標に、住宅・居住環境整備、魅力店舗や老舗の保全・誘致、観光散策ルートの整備を柱としている。

## シンボルツリー 淡墨桜3本 町会に植樹！

なお、その実践事業として今年12月には、同町のシンボルツリーとしての「淡墨桜」3本の植樹を計画している。また、町会にある個々の駐車場は、地域活動には積極的に解放したり、全員による町

## 末広町南組まちづくり憲章

私たちが、

- 1 美しい平穏な町環境を守り、町内の美化清掃に努め、犬などの汚物放棄は皆で町内から排除します。
- 2 社会の生活秩序と法ルールを遵守し、迷惑行為、迷惑駐停車等をなくし町民相互の協調のもとに暮らします。
- 3 町内住環境と景観を乱さないように、町民相互に努力し、住みよいまちづくりをはかります。
- 4 町民のコミュニケーション、人間関係を守り、管理人不在の住宅、アパートなどは、持ち主等が責任管理と協調に努めます。
- 5 町内の高齢者を労り、その世帯は近親者の責任と共に近隣者と相互協力し、皆で町内の安全と健全な発展に努めます。

※この憲章は、平成8年4月1日より制定する。この憲章を各戸に掲示し遵守する。  
※この憲章の改正を必要とするときは、町内役員会で審議し改正することができる。

会の清掃、中でも道路の雪かきを行うなど、身近なまちづくり活動を推進していることは、校区のまちづくり実践のお手本として他町会に誇れる地域活動といえる。

ぜひ、他町の皆さんも、自分の町に合った「まちづくり憲章」に取り組んでください。もし不可能でもその間の話し合いが、まちづくりなので、から。協議会ではそのお手つだいをお願いいたしますので、お気軽にご相談ください。

## 「アンケート結果報告 「憲章づくりを しませんか」 校区72町調査 返信なし56町 無関心か？

「まちづくり」という日本独特の表現の積極的意味は、「都市環境を客観的に外側から眺めるのではなく、自らそこに住み暮らす一人ひとりが内側から眺め直す永続的な有形無形の努力を共有すること」にあるといわれる。

そこで、最も身近に接することのできる自分の住む町会での「まちづくり憲章」づくりについての調査を全校区72町で行った。

- 調査は、
- ① 「まちづくり憲章」を制定したい。
  - ② 関心がある。
  - ③ 考えていない。
  - ④ 説明してほしい。

の4問で、解答をいただいた町会が16町。未回答56町という残念な結果に終わった。

## 北九州市議会都市開発対策特別委員会

### 市議団一行「蔵」視察 支援カンパを協議会へ

7月3日、北九州市議会都市開発対策特別委員会の一行8名と議会事務局調査課職員2名による視察を受けた。北九州市は人口120万都市で、市議は市民2万人に1人を選出している。因に岐阜市は1万人に1人の議員である。

一行は、商業目的などによるまちづくりではなく、住民主体のまちづくり活動を視察したいと私たちの協議会を訪問し、その内容を熱心に調査し意見を交換した。

まちづくり団体を支援する組織を行政に作るよう提言したい。

議員団は、住民主体のまちづくりを応援するには、自分たち議員がそのバックアップや行政、議会の支援が必要でまちづくり制度としての仕組みを整える必要がある。

- 自分の住むまちへの関心がないのか、何なのだろうか。調査結果は次の通りである。
- ① 制定したい。
  - ② 関心がある。
  - ③ 考えていない。
  - ④ 説明してほしい。

南組はすでに制定済み。  
② 関心がある。  
布屋、万力、大宮1、松屋、米屋、松下、松山、上竹屋の8町。  
③ 考えていない。  
中大桑、蜂屋、久屋、元浜、玉井、木造西、ユウハウス町の7町。  
④ 説明してほしい。なし。



## 岐阜女子大学 斎藤ゼミ30名 金華のまちで 「住」研修



岐阜女子大学助教授  
斎藤ひろ子

さる6月4日に、私たち岐阜女子大学家政学部住居学科4年生、約40人が金華のまちを見学させていただきました。皆さんは、「住居学科」とはあまり聞かれたことがないと思います。住居学科では、快適な住まい、より良い街づくりを考えていくために、「住」に関する様々な知識を

### 金華のまちづくり協議会収支決算書

(平成5年4月1日～7年3月31日)

収入の部	
繰越金	392,820
会費	474,000
広告料	100,000
寄付金	100,652
雑収入	92,942
受取利息	754
合計	1,161,168

支出の部	
会議費	9,430
広報費	302,430
渉外費	27,000
通信費	76,069
資料印刷費	29,100
部会費	423,528
光熱費	50,610
事務用品費	2,812
事務所維持費	40,000
雑費	20,812
合計	981,802

繰越金	179,366
総計	1,161,168

### 平成8年度 支援会費の 納入を お願いします

●支援会費  
一口 3,000円

●お振込先  
十六銀行材木町支店  
口座番号0276918  
十六銀行竹屋町支店  
口座番号0944952

●お問い合わせ先  
金華のまちづくり協議会  
事務局/木造町24  
(株タック内)  
☎64-0824

学び、そして実際に計画・設計をしています。住居学科の中には、インテリアコース、住居コース、地域環境コースがあります。

今回は、地域環境コースに「居住地管理」という授業がありまして、講義をした後で「実際のまちに出て考えてみよう」ということで見学会を実施いたしました。

当日はお天気にめぐまれ、金華まちづくり協議会の伊藤事務局長さん、蔵運営部会長の広瀬千恵子さん、金華まちづくり研究会の河崎良史事務局長さんに、歴史博物館から出発し、岐阜公園の中を通り御手洗の池から玉井町の古い街並み、山口町の曲屋、益屋町の街並み、大仏、今町の卯建、中大桑町のまちづくりの蔵までご案内いただきました。

「まちを守り育てることの大切さ、そこには住み手が一番大切」であることをいつも講義で話しておりますが、当日は、実際の街で、まちの文化・歴史・生活・産業、建物人々にふれさせていただき、私も学生も実感させていただきました。

「金華のまち」、大変魅力的なこのまちにあらがれの気持ち、やさしい気持ちを抱いて帰ったのは私だけではないと思います。それもひとえに日々そこに暮らし、そこで考え、そこで悩み、そこで行動をとられている皆さんの力だと思っております。

本当によい勉強をさせていただき、ありがとうございました。ぜひ、今後も金華のまちについて勉強しつづけたいと思っております。

金華地区へようこそ  
**金華**  
**35寺めぐり**  
 金華のまちづくりマップ

金華のまちづくり協議会  
 事務局：岐阜市木造町24番タック内  
 TEL.058-264-0824



**1 天理教 天理教岐美大教会**  
 明治27年、中今町に設立、29年現在地に移転、布教活動をしている。  
 大宮町1-39・☎262-1756



**2 臨済宗妙心寺派 地藏寺**  
 夢枕に現われた長良川を漂流する地藏尊を慶讃法要する尼寺。  
 木挽町15・☎262-9055



**3 天台宗 般若寺**  
 庚申尊天を本尊とした尼寺。  
 木挽町4・☎265-1070



**4 臨済宗妙心寺派 岐陽院**  
 岐阜市の鬼門除けの稲荷明神を守護神としている。  
 木挽町1・☎265-1055



**5 浄土真宗大谷派 法運寺**  
 織田信長に追われた齋藤龍興の家臣堀将監重行が仲間を弔うために開いた寺。  
 西材木町9・☎263-9491



**6 浄土真宗大谷派 真光寺**  
 天文11年創立の寺で、本尊は阿彌陀仏。  
 中大桑町21・☎264-2423



**7 浄土真宗大谷派 浄安寺**  
 土岐家の水井藤庄衛門が建立。以来、寄合所として開法集會に使用されている。  
 中大桑町31・☎263-6928



**8 浄土真宗本願寺派 普賢寺**  
 浄土真宗本願寺派直末の寺。  
 甚衛町5・☎265-2701



**9 浄土真宗本願寺派 法光寺**  
 本尊は阿彌陀立像。  
 下新町36・☎265-2798



**10 日蓮宗 正興寺**  
 織田信長の侍医中川少将宗因長政の墓碑がある。  
 木造町13・☎264-0981



**11 浄土真宗本願寺派 蓮生寺**  
 齋藤道三の家老木造左衛門尉具政の家敷跡で、齋藤龍興より寺地を拝領。  
 木造町10-1・☎263-9892



**14 曹洞宗 勝林寺**  
 天正10年織田信長が小牧より移築。境内には、市指定の巨木の「楠」がある。  
 木造町6-1・☎262-3685



**15 浄土宗 本誓寺**  
 元禄7年に再興。長禄2年在銘の織田信長在城の頃の梵鐘がある。  
 矢島町2-46・☎263-5118



**18 日蓮宗 長照寺**  
 円乗院日述が京の兵乱を避けて当地を唱題布教の靈地とした。  
 矢島町1-74・☎263-3057



**19 浄土宗西山派 誓願寺**  
 永禄12年、織田信長が移築。池田信輝寄進の釈迦涅槃図、伝岐阜城の鯉瓦がある。  
 伊奈波通1-43・☎264-4834



**22 浄土宗西山禅林派 極楽寺**  
 織田信秀により移築され、鎌倉時代の木尊阿彌陀如来、不動尊像がある。  
 伊奈波通1-34・☎264-2560



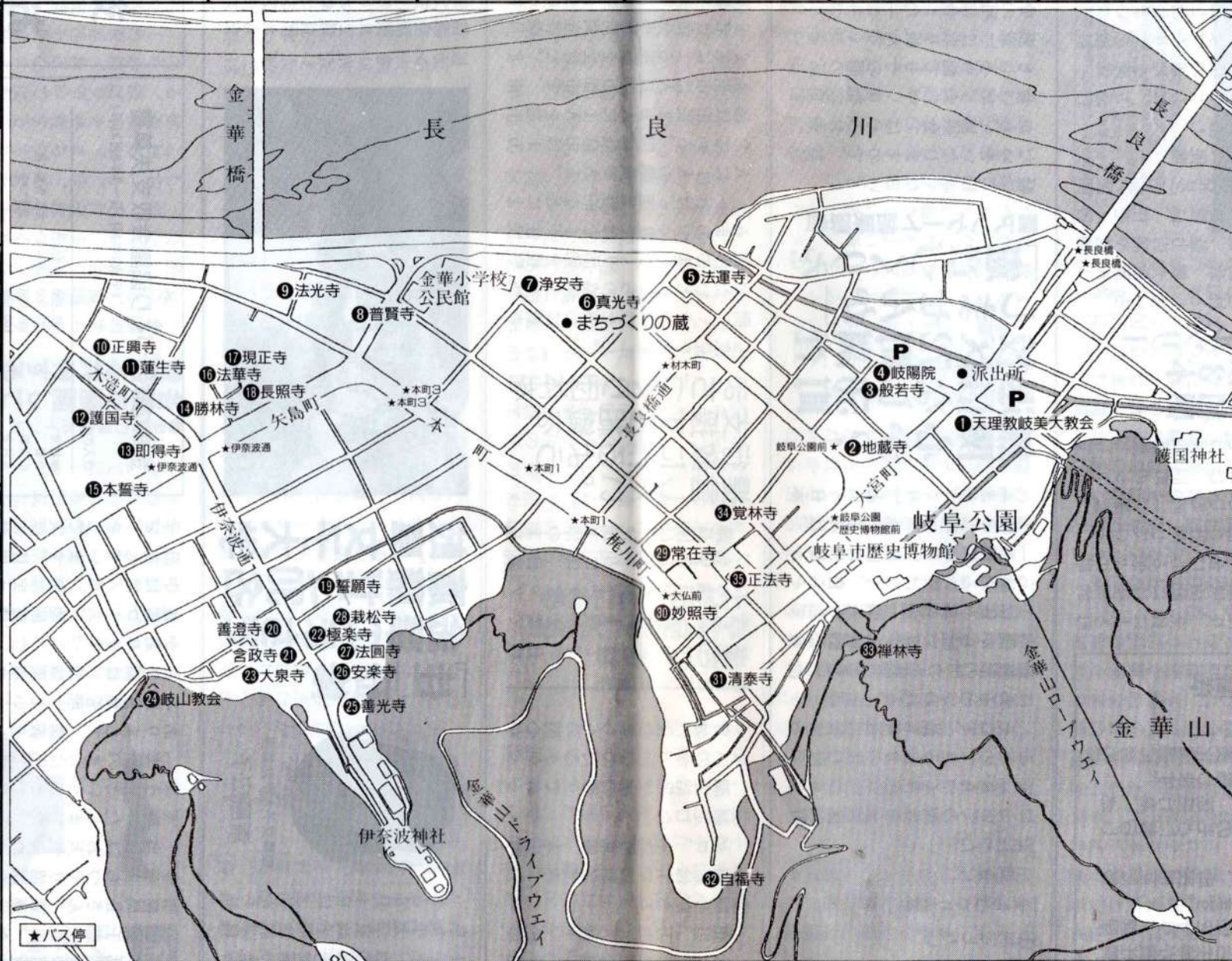
**23 浄土宗西山禅林派 大泉寺**  
 天文元年、文譽法子等訓上人の創建による寺。  
 万力町7・☎264-2083



**26 浄土宗西山禅林派 安楽寺**  
 千羽鶴がたくさん奉納される安産、子育ての子安地藏を安置した願い寺。  
 伊奈波通1-16・☎262-7732



**27 浄土宗 法圓寺**  
 齋藤道三の創建。天文3年大桑村より垣中敷10戸とともに現在地に移る。  
 伊奈波通1-20・☎262-8416



**12 臨済宗妙心寺派 護国寺**  
 徳川家康によって現在地に移転、享保年間の本堂と境内の花木が美しい。  
 木造町31・☎265-8826



**13 浄土真宗本願寺派 即得寺**  
 百々越前守の家敷跡で、文明16年、細川家臣により現地に移る。  
 木造町49・☎263-8313



**16 日蓮宗 法華寺**  
 織田信長の祈願所。雪舟筆の釈迦画像や織田信長、豊臣秀吉、織田信孝の書状がある。  
 矢島町1-55・☎262-5322



**17 日蓮宗 現正寺**  
 法華寺の塔頭で草庵庵と称し、元禄2年、現正寺となる。  
 矢島町1-75・☎263-8309



**20 浄土宗西山禅林派 善澄寺**  
 毎月22・23・24日は灸で賑わい万病に効くという足踏石がある。  
 伊奈波通1-65・☎263-3558



**21 浄土宗西山禅林派 含政寺**  
 亀山山立政寺23世の弟子の輪海上人が創建し、その法脈を継承している寺。  
 伊奈波通1-68・☎262-2507



**24 大乘教 岐山教会**  
 教会までの山道の石仏は面白い。貞享3年の毘沙門天像がある。  
 駿河山1-3・☎263-7990



**25 真言宗醍醐派 善光寺**  
 節分は星供養で賑わう。天正10年、織田信長が甲府から現地に移築した。  
 伊奈波通1-8・☎263-8320

**28 臨済宗妙心寺派 栽松寺**  
 大衆の座禅道場を開き、大衆禅文化研究所を開設している。  
 伊奈波通1-27・☎262-4227

**29 日蓮宗 常在寺**  
 齋藤道三の菩提寺で、国重文の齋藤道三画像、齋藤義龍画像がある。  
 梶川町14・☎263-6632

**30 日蓮宗 妙照寺**  
 竹中半兵衛の屋敷跡で、松尾芭蕉が滞在した座敷があり、句碑とともに公開している。  
 梶川町9・☎264-7793

**31 浄土宗 清泰寺**  
 西材木町の天野利兵衛が文化13年に開基。本尊は、犬山城主より拝領。  
 松ヶ枝町21・☎263-9545

**32 曹洞宗 自福寺**  
 天文年間に建立された金龍山圓林寺の後裔の寺。  
 松山町13・☎263-4448

**33 臨済宗妙心寺派 禅林寺**  
 長い石段と紫陽花の美しい昔の大手門道を見おろせる十一面観音の寺。  
 梶谷13-3・☎262-9901

**34 臨済宗妙心寺派 覚林寺**

**35 黄檗宗 正法寺**  
 日本三大仏の1つで、文政12年の乾漆大釈迦如来(13.7mの大仏)です。  
 大仏町8・☎264-2760

自然と活力に満ちた個性ある豊かな金華のまちづくりをめざして.....

# 金華まちづくり

ニュース

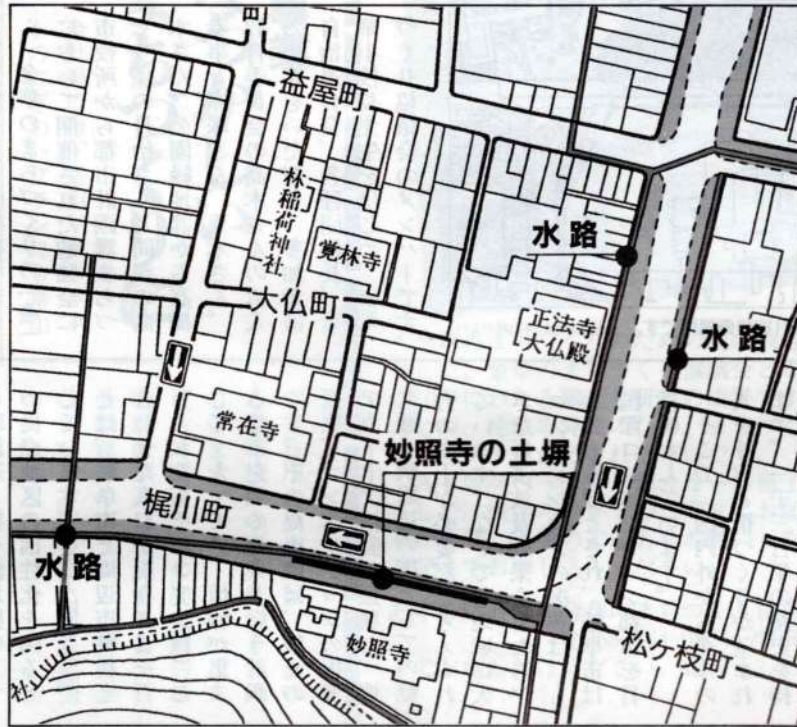
発行/金華のまちづくり協議会広報部会/1989年6月4日創刊/事務局/岐阜市木造町24株タツ内・Tel.058-264-0824

## 大宮町・梶川町(岐阜白鳥線)道路整備計画 人に優しい道づくりを!

美しい景観は、生活環境を快適にする大切な要素です。緑や水の手づくり出す風景や調和のとれたまち並みは、私たちの生活に潤いと安らぎ、活力を与えらるるとともに、子ども

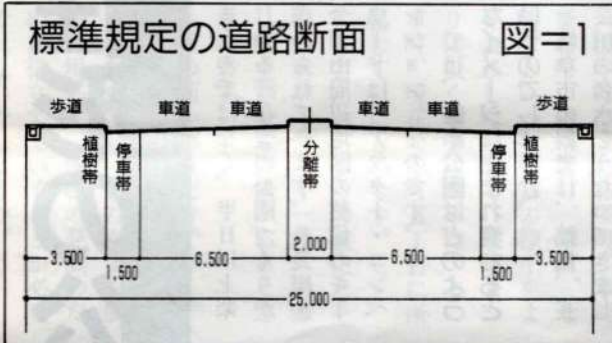
### 一方通行のままでは

通行量を考えると往復路で四車線道路計画が立案されていますが、最近の交通事情については、周辺に環状線が整



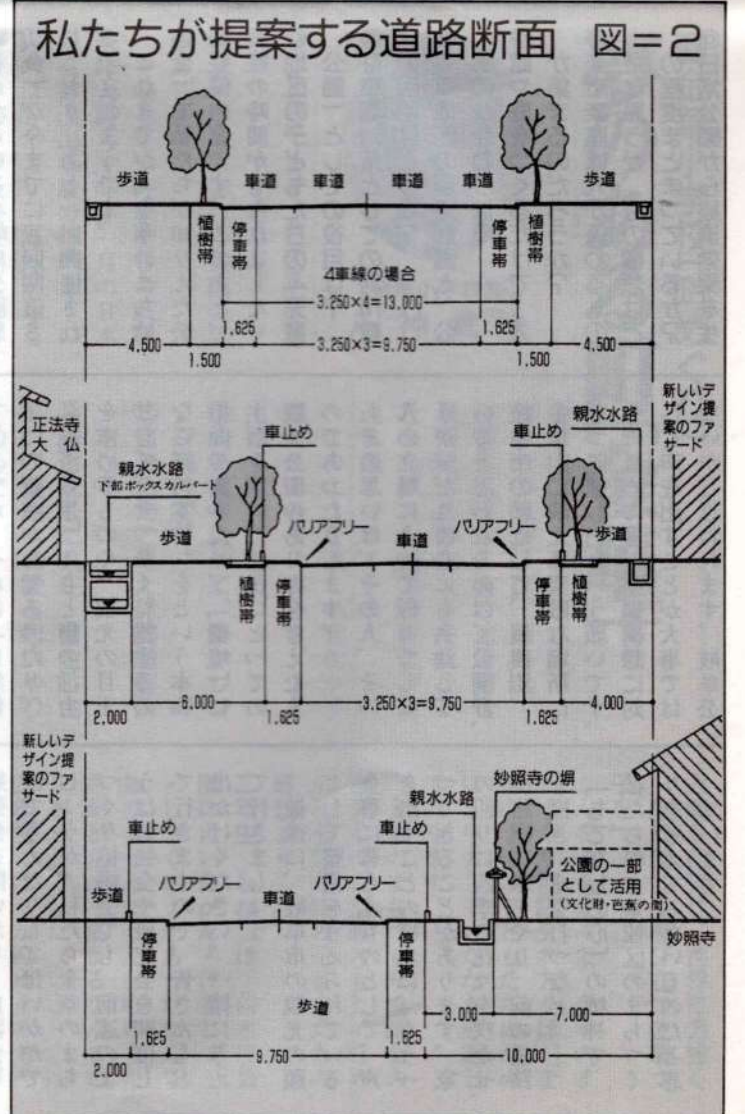
たちの情操を豊かに育てるなど、人間形成に大きな影響を及ぼしています。私たちは、金華地区の自然・風土・歴史の中に生きた先人たちが残した英知を探り、岐阜白鳥線の整備を地域景観づくりへの足がかりとして計画すべきと考えています。

岐阜白鳥線は、幅員二十五メートルの都市計画道路として決定されており、道路構成については、図1のように想定されます。



### 歩道を親水公園に

妙照寺の堀および松尾芭蕉の間は、現在の道路計画の間では、道路上になってしまっています。歴史をたたくむこれらの文化財を市民の財産とし



- ### 標準規定の道路断面 図=1
- 歩道
  - 植樹帯
  - 停車帯
  - 車道
  - 分電帯
  - 車道
  - 車道
  - 車道
  - 植樹帯
  - 歩道

- ### ①交通機能を考える
- 将来交通量への対応
  - 将来ピーク時の交通量
  - 走行距離
  - 路線バス利用者への影響
  - 国道256号の道路機能
  - 回遊性のある道路網
  - 交通弱者への対応
  - 交通の制御
  - 歩道幅員
  - 金華山ドライブウェイ方面への車線確保
  - バス交通の渋滞対策
  - バスベイの設置
  - 都市環境を考える
  - 都市施設へのアクセス性
  - 居住環境の保全

私たちのまちづくりは、広い視野で自然、社会、都市、人間生活等を考慮に入れ、具体的に都市景観やまちづくりを考え、それぞれの地域の様々な要求の中で条件を満たす、価値ある構築物へと置きかえて行かねばなりません。

て地域に伝承していく上でも、保存・活用の方で道路構成に取り組み、親水公園化を計ることを提案します。

- ### ③歴史的まち並みの形成
- 都市防災
  - 沿道の商業活動への影響
  - 歴史的まち並みの形成
  - 散策ルートの保全
  - 重要文化財の保全
  - などを十分考慮する必要があります。

私たちは、この事業が金華地域の景観資産の再発見として、ただ一助になるとともに、建築デザインのあり方や、地域の特色ある歴史的資産を生かした今後のまちづくりに寄与することを期待します。

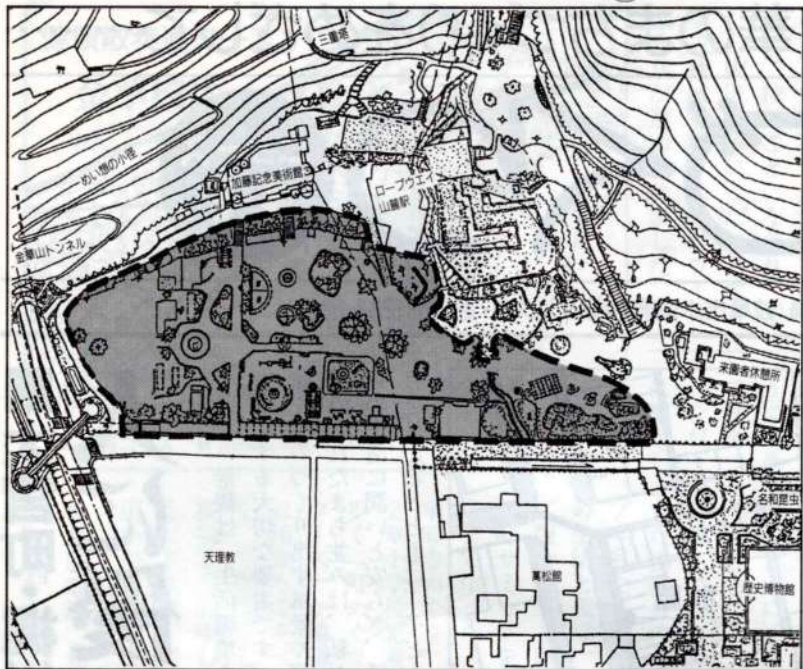
# 岐阜公園再整備構想 「金華のまち勉強会」

## 体験・滞在形の公園に

### どんな公園に生まれ変わるの？

金華のまちづくり協議会では、住民の感心も高く、すでに整備が進められている岐阜公園の現状を知りたいという思いで市の出前講座という形で「金華のまち勉強会」を昨年の九月末にお願いしました。私たちが親しんできた岐阜公園は、就学前の子どもたちが家族連れで遊び、小学生が遠足や写生の場とし、中高年の方たちが健康のために散歩し、歴史博物館、加藤栄三・東一記念美術館、名和昆虫博物館という生涯学習の拠点であり、金華山、岐阜城に観光客が訪れる校区の、いえ岐阜市のシンボリックな場所です。

その公園の再整備が進んでいるというのに、校区で暮らす私たちは公園がどのような形に姿を変えようとしているのかを余りにも知らずにいるのではないかと思えたからです。九月二十九日(月)午後七時から、金華のまちづくりの「蔵」において開催された勉強会に市役所から都市計画課まちづくり係の丹治さんと同課の高木さん。公園緑地課から高橋参事と赤塚さん、栗木さん。教育委員会の高木さんの六人の出席をいただき、参加者は自治連合会、各種団体長、金華小学校長先生をはじめ、まちづくり協議会のメンバーです。



で囲まれたところが、現在進められている第1期整備箇所です。(地図は平成6年当時のもの)

それでは、岐阜市が考える公園整備構想を紹介します。

岐阜市は「美しく豊かな生活都市・ぎふ」を第四次総合計画の将来都市像にかかげ、その実現のための重点プロジェクト「コア100万計画」の中で、長良川・金華山周辺地区と駅周辺・柳ヶ瀬地区の二つの拠点地区の活性化を図るとしています。「コア100万計画」とは、岐阜市と周辺市町村を合わせた人口が現在およそ百万人おり、そのコア(核)として、人・モノ・情報が集まる都市をつくらうという計画です。そのためには、観光の振興、コンベンションの振興、アウトドア活動の振興と、柳ヶ瀬・駅周辺の街としての魅力の向上が必要だと考えられています。なかでも地域に大きな経済波及効果をもたらすコンベンションの振興は、もつとも重要とされ、岐阜市は国際コンベンション都市を目指すとしています。

そこで、国内外から多くの人を呼べる街づくりが望まれます。一千三百年の歴史を持つ鶴岡、長良川の名水、岐阜城・金華山は岐阜市の重要な観光資源です。しかしその集積地としての岐阜公園は、観光バスの駐車場がなく、団体客への食事の提供ができる施設もなく、公園としての目玉と呼べるものがないというのが現状です。世界イベント村や長良川国際会議場で行われるコンベンションに集まる人々が、高山や下呂へ流れてしま

まうのではなく、半日以上楽しめる滞在型の公園づくりが求められています。長良川・金華山周辺地区の整備のキーワードは、アフター・コンベンションなのです。

では、岐阜公園はどのようなイメージに生まれ変わるといえるのでしょうか。岐阜市の観光は、鶴岡、長良川の名水をうたててきましたが、岐阜公園は岐阜市のも一つの目玉「信長」の名のもとに整備されようとしています。

具体的には、  
①「楽市楽座」をつくる  
②「信長の館」をつくる  
③①と②をつなぐ「信長の庭」をつくる  
④「信長の才」として、歴史博物館に常設展を設ける  
⑤「信長の城」の整備  
これは平成九年度改修済み  
の岐阜城  
以上の五点を構想の軸としています。

動物・鳥舎跡地など、公園全体を整備するという事です。

その他、県図書館跡地に木製遊具を入れた「幼児広場」はすでに整備済みであり、忠節用水は二階建てにして「せせらぎ広場」にする構想です。天理教跡地には、大型観光バスを止めることのできる駐車場をという案もあります。さらに、都市計画決定区域としては、天理教跡地の七千平方メートルに加え、萬松館(レストランを併設)、鏡岩水源池(のちに水を使った広場を計画)などを含めた広範囲にわたる総合的整備構想なのです。これらの計画に対して、岐阜市は意見を聞く場として、堀岐阜女子大学学長を座長に、金華自治連合会長、大宮町自治会長、議員をはじめ学識経験者らからなる「岐阜公園懇話会」が今までに三回開催されており、あと一回開催される予定のようです。

これまでも「金華のまち勉強会」で私たちが知りえた公園整備内容です。このあと、質疑の時間もたれました。  
◎地区の子どものための「児童公園」としての役割は？  
◎駐車場対策としての河川敷の活用はどうか？  
◎金華地区の道路計画と、公園のかかわりは？  
◎館や庭をつくるだけで、人が集まるのだろうか？  
◎楽市楽座は人が係わるものかと思うが、その構想はどの程度までまわっているか？  
◎日常公園から経済効果を生

動物・鳥舎跡地など、公園全体を整備するという事です。

動物・鳥舎跡地など、公園全体を整備するという事です。その他、県図書館跡地に木製遊具を入れた「幼児広場」はすでに整備済みであり、忠節用水は二階建てにして「せせらぎ広場」にする構想です。天理教跡地には、大型観光バスを止めることのできる駐車場をという案もあります。さらに、都市計画決定区域としては、天理教跡地の七千平方メートルに加え、萬松館(レストランを併設)、鏡岩水源池(のちに水を使った広場を計画)などを含めた広範囲にわたる総合的整備構想なのです。これらの計画に対して、岐阜市は意見を聞く場として、堀岐阜女子大学学長を座長に、金華自治連合会長、大宮町自治会長、議員をはじめ学識経験者らからなる「岐阜公園懇話会」が今までに三回開催されており、あと一回開催される予定のようです。

これまでも「金華のまち勉強会」で私たちが知りえた公園整備内容です。このあと、質疑の時間もたれました。  
◎地区の子どものための「児童公園」としての役割は？  
◎駐車場対策としての河川敷の活用はどうか？  
◎金華地区の道路計画と、公園のかかわりは？  
◎館や庭をつくるだけで、人が集まるのだろうか？  
◎楽市楽座は人が係わるものかと思うが、その構想はどの程度までまわっているか？  
◎日常公園から経済効果を生



▲整備が進む岐阜公園

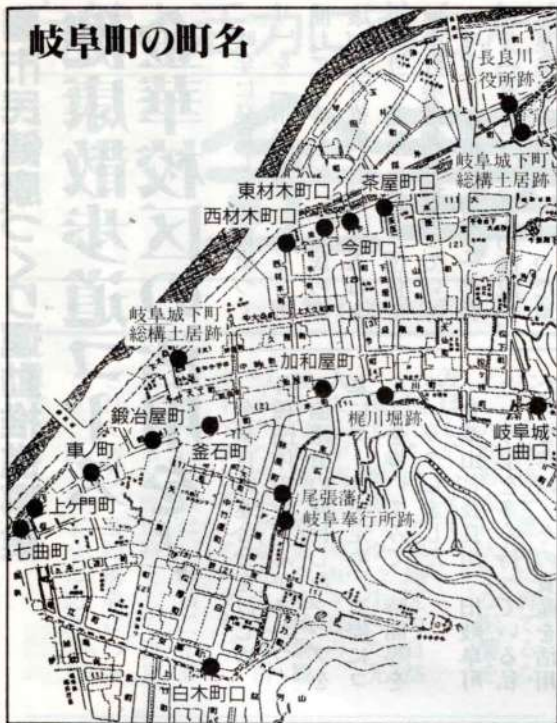
### 金華の住人としてできること……

岐阜公園への思いや要望は、岐阜市民、まして金華に住む私たち一人ひとりが多かれ少なかれ持っているのではないのでしょうか。それは「自然保護」の観点からであったり、「経済効果」のもと街の活力を求めるとか、観光の目玉として、せっかく整備するのなら、「本物」という本物指向であったり、「環境」に主眼を置いた住民にとつての観光公園のあり方を考えたものであったりします。

その思いは、その人、その人の立場によって様々でしょうが、だれの心にも共通していると思われるのは、公園が岐阜市の顔として、長良川、金華山に映える素敵な場所になって欲しいという願いです。そのためには、整備構想に対して声を出すことが大事ではないかと思われまます。岐阜公

園だけでなく、金華山周辺整備や、通路整備にも、私たちの声が反映されていくと考えられます。その手段として勉強会を開いたり、自治会単位で考えたりしてはいかがでしょうか。私たち金華のまちづくり協議会でも、前述のようは勉強会や研究会を開催して行きますので、皆さんも出かけてください。一緒に考えて行きましょう。

最後に、岐阜市の観光の顔として整備を考えられている金華に暮らすものとして、声を出すことのほかに、もう一つできることがあります。家の回りに四季の花々を咲かせ、街路樹に水をやり、前の道路を掃き、水を打つなど……、「もてなしの心」の精神で、私たちの金華校区のまちづくりを考えてみたいものだと思います。



美しく豊かな生活都市・ぎふを掲げ、岐阜市の第四次総合計画では、重点プロジェクトのにぎわいプランに金華山

・長良川の周辺地区、いわゆる金華校区の振興整備をあげています。この関連からの歴史案内標識設置事業は、教育委員会社会教育課のプランで、歴史的なまち並み、金華の歴史を後世に伝えるため、古くから伝わる旧町名等を記したサイン(標柱)をまちのポイントの箇所に設置する事業です。これは、金華(旧岐阜町)と加納地区の二地区を対象にして計画されています。この計画は、金華のまちづくりという大きな活性化といふことでも、金華の歴史、旧岐阜まちの歴史を町名からも読み取り、郷土愛、地域の再発見を高める点でも、校区にとって面白い試みといえます。候補地として事前に説明会が開かれましたが、批判的な



町のお店屋さんを見学する金華小学校児童たち。

意見が多く、「まぎらわしい」「税金の無駄づかい」などの声が大きくなり、一時は断念ということでしたが、県道岐阜駅白鳥線の本町筋で、とりあえず設置となりました。現本町は、加和屋町、本町、釜石町、鍛冶屋町、車町、七曲町といった、昔の様子をよく表わした町名で、岐阜まつりに曳く金華の山車は、この車町、現在の本町五丁目に所属していたものです。町名には、多くの歴史とその由来があり、今一度、勉強し直す上でも価値があると思われれます。目の前の事象だけでなく、トータルで、金華のまちづくりのために、この事業を展開活用して、地域の発展のために役立てていくことが必要ではないでしょうか。

「ふるさと金華に夢をふくらませ、輝かせ、自分という人間を自覚し、世界に力強くたくましく飛び立つ金華の子を」

# 歴史的まちづくり事業 旧岐阜町のなつかしい町名標識をまちづくりに

美しく豊かな生活都市・ぎふを掲げ、岐阜市の第四次総合計画では、重点プロジェクトのにぎわいプランに金華山

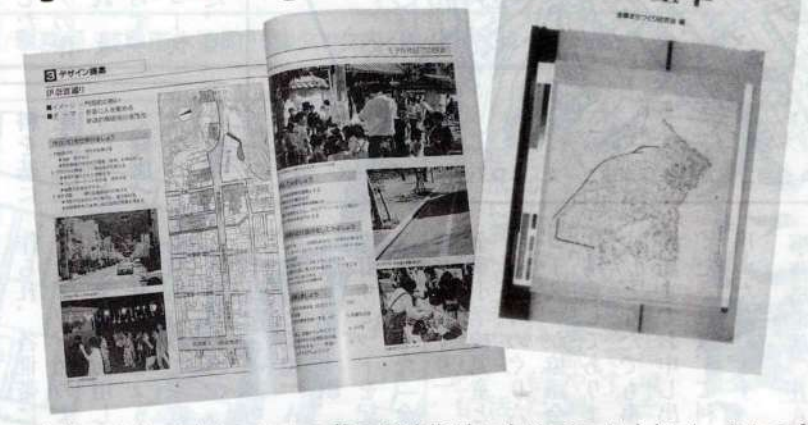
「慈善は、まず、わが家から」チャリティ・ホームという英国の諺があります。平成七年一月十七日の阪神淡路大震災や昨年一月の日本海石油流出事故の時のように国内はもとより、海外からも多数の人々が救援に駆け付け、被災の人々に温かく援助をさしていたことは、これからの社会においては大変大切なことなのです。

今日、わが国は、国際化、情報化、科学技術の進展、環境問題、高齢化・少子化など社会の様々な面での変化が急速に進んできています。このような激しい変化が予想される社会において、子どもたちには、

①やる気を持って、チャレンジ精神で  
②自分の力で考え、問題解決をして  
③他とともに共生・響生し合い、自他への愛と思いやりの心で

二年生 わたしは、白木町公園にえいがかん・げきじょう・しやくしよがあつたなんて知りませんでした。町の人たちがどんどん集まるなんて知りませんでした。四年生 ほか町めぐりで一番心に残ったことは、のこぎり形の曲家の家です。右や左から敵がせめてきた時に、すくのかぎり形の家に入って自分が殺されないようにかくれ、そこから弓を引いて敵をたおすことができるからです。ほかは、この話を聞いて、昔の人はすこかつたんだなあと思いました。ほかは町のめぐりでたくさんの方を勉強しました。

# まちづくり10年の結晶! まちづくりの基準ガイドブック発刊。



金華のまちづくりのための美の創造指針に向けてのガイドブックができました。金華のまちづくり協議会と専門部会の金華まちづくり研究会による10年にわたる調査と研究の成果です。この冊子が、あなたの住む町会をはじめ、地域の発展のため、まちづくり景観形成にご活用いただき、話し合いのタタキ台となれば幸いです。A4版80ページ、一部カラーの冊子は、多くの方々のご協力で出来上りました。校区の皆さまのご家庭にお届けできればいいのですが、冊数に限りがあり、実費のご協力をお願いしなくてはなりません。ご利用の方は、下記までお申し込みください。

お申し込みは：金華のまちづくり協議会 事務局  
☎058-264-0824 ☎058-265-8120  
までお申し付けください。送料込2,390円です。

内容：

第1章 金華地区の概要	第3章 金華地区の「華」の創出基準
1 位置づけ	1 まちづくりの基本方向
2 まちの変遷	2 華の創出基準
3 まちの姿	3 デザイン提案
	4 地域防災
	①地域防災の可能性
	②防災活動をささえる地域づくり
第2章 金華地区の現況調査	第4章 まちづくり活動の現況
1 まちづくり活動の現況	1 まちづくり海外事情
2 調査報告	2 金華まちづくり研究会
	3 まちづくりと行政の関係
	資料
	①地勢
	②土地利用
	③建築文化
	④自然の生態系
	①環境点検
	②色彩調査
	③町家づくりの調査
	④土地柄を読みとる
	⑤外部からみた金華地区



金華小学校長 八神 武夫

# 夢のある町「金華」

「慈善は、まず、わが家から」チャリティ・ホームという英国の諺があります。平成七年一月十七日の阪神淡路大震災や昨年一月の日本海石油流出事故の時のように国内はもとより、海外からも多数の人々が救援に駆け付け、被災の人々に温かく援助をさしていたことは、これからの社会においては大変大切なことなのです。

今日、わが国は、国際化、情報化、科学技術の進展、環境問題、高齢化・少子化など社会の様々な面での変化が急速に進んできています。このような激しい変化が予想される社会において、子どもたちには、

二年生 わたしは、白木町公園にえいがかん・げきじょう・しやくしよがあつたなんて知りませんでした。町の人たちがどんどん集まるなんて知りませんでした。四年生 ほか町めぐりで一番心に残ったことは、のこぎり形の曲家の家です。右や左から敵がせめてきた時に、すくのかぎり形の家に入って自分が殺されないようにかくれ、そこから弓を引いて敵をたおすことができるからです。ほかは、この話を聞いて、昔の人はすこかつたんだなあと思いました。ほかは町のめぐりでたくさんの方を勉強しました。

人間を自覚し、世界に力強くたくましく飛び立つ金華の子を」

# ■市民健康づくり運動推進事業 健康散歩道コース 金華校区の活用を!

昨年に発足した「健康づくり」を「市民運動」として展開していくという「市民の健康づくり推進」は、個人はもとより、家族、地域、団体で健康散歩運動を推進していくものです。地域の「良さ」の発見や「コミュニティの醸成」、「連帯感の高揚」といった地域づくりにかせない大きな役割を果たすと思われまます。

「健康散歩まち・散策マップづくり」は、私たち金華のまちづくり協議会では、平成四年のマップづくりから始まっています。以来、毎年行われる金華小学校の「まちめぐり」、「金華35寺めぐり」と展開され、すでに地域において活動が進んでいました。

この健康散歩道マップの作成は、校区ごとになされ、また、校区のみにこだわらず、周辺地域も取り入れたコースづくりが進められました。



金華自治連合会をはじめ、各種団体の皆さんがまちづくり協議会の発行したマップを基にコースを定め、実際にコースを歩いてみて、時間等をチェックしました。

金華山と長良川、旧岐阜町という宝を多く持っている私たち金華は、その資産を活用し、そのためにそこに住む私たちが、何かを受け持ち、お手伝いして、金華の活性化につながなければなりません。校区の健康づくりも大きなポイントなのです。

まちづくり協議会は、このマップづくりのお手伝いとまとめをして、岐阜市へ提出しました。私たちの提出した資料を基に、作られ、各世帯に配布されるマップが、図のようにできます。大いに活用して健康づくりに努めましょう。なお、平成四年に各ご家庭に配布しました協議会のマップ「私たちのまちの生活と環境」A二版全カラー刷、寺町サミットを記念して作った「金華35寺めぐり」、金華小学校児童と歩く「町めぐり六コース」が協議会に用意してあります。どなたでも事務局までお申し出くださいれば、ご利用いただけます。

事務局電話〇五八二二四一〇八二四

子供と大人がグループになり問題を解きながらまちめぐりをする

## 夢づくりふれあいウォーク

こき 3月1日 午前9時 (小雨決行)  
集合場所 金華小学校

あたたかい芋煮とお楽しみプレゼントを用意してあります

主催 金華青少年育成市民会議

参加者募集

問題を解きながら楽しいウォークを待っています

から町ウォーク。ゴールには、レゼントと温かい芋煮が、みんなをす! あなたの再発見がありますよ!

## ■夢づくり・ふれあい事業 わが町再発見…… 夢づくりふれあい ウォーク3月開催

学校と地域の連帯による「夢づくり・ふれあい事業」は、地域の伝統、文化、自然、特産物を生かした体験学習、アドベンチャー活動、ボランティア活動、さらにはあいさつ運動が行われています。こうした事業は、地域の子どものちの生き生きとした経験を通して郷土の自然、文化への興味を育てながら、健全な子どもを育成を目指すとともに、校区住民の連帯による地域おこしの原動力となると考えられます。

催の「ふれあいウォーク」は、子どもからお年寄りまでグループになり、一緒になって問題を解きながら校区を探検するラリーゲームで、新しい発見が、またできるものと期待がもてます。

その開催要項は、

日 時 三月一日(日)  
午前九時～十一時  
小雨決行

集合場所 金華小学校校庭  
申し込み 当日校庭へ集合  
主催 金華青少年育成市民会議

金華青少年育成市民会議主催

協 力 金華自治会連合会

・校区各種団体・  
金華小学校

参加者を子どもと大人の混成チームを編成し、各チームへウォークラリーの地図、問題、解答用紙を配布します。

チームは、九時三十分に出発十一時までに問題の場所をさがして問題を解き、スタンプを受けて時間内にゴールすると解答を集計して成績発表、お楽しみプレゼントと温かい芋煮が用意されています。

金華青少年育成市民会議会長の岩田好令さんは、

私たちの校区は、豊かな資源に恵まれ、校区内の交流も活発に行われています。今日の中・高生の社会現象も豊かな土地柄が希薄になってきたことも原因ではないでしょうか。私たちの催しは、そんな点も考慮に入れ、健康な体、健康なまちづくりをめざして三世代の交流、中でも中学生の参加を特に願っています。

古い金華のまちめぐり、何かを発見し、まちの風やにおいを感じ取ってくれることを期待しております。

岩田好令  
金華青少年育成市民会議 会長

## ■事務局だより

四月十八日行政・民間共創のまちづくり懇談会、六月二十二日滋賀県東町立治田公民館まちづくり交流会、七月一日岐阜女子大学金華町めぐり、八月九日校区健康散歩コース委員会、十七日散歩道体験散策、二十八日・二十九日地域づくり全国大会(山口県)

### 金華のまちづくり協議会収支決算書

(平成7年4月1日～平成8年10月31日・会計年度改正のため変則)

収入の部	
繰越金	179,366
会費	728,000 (246口)
広告料	20,000 (まちづくりニュース掲載料)
寄付金	3,000
雑収入	147,000 (マップ売払、協賛助成、蔵協力費など)
受取利息	434
合計	1,077,800
支出の部	
会議費	85,000
広報費	187,203 (まちづくりニュースNo.10、35寺めぐり)
渉外費	35,200 (負担金、中大桑町町費)
通信費	28,415 (切手、はがき)
資料印刷費	20,160
部会費	153,517 (蔵整備費)
光熱費	35,306 (電気料、灯油)
事務用品費	4,436
事務所維持費	40,000
雑費	39,960
合計	629,197
繰越金	448,603
総計	1,077,800

## 平成9年度 支援会費の納入をお願いします

●支援会費 一口 3,000円

●お振込先  
十六銀行材木町支店 口座番号0276918  
十六銀行竹屋町支店 口座番号0944952

●お問い合わせ先  
金華のまちづくり協議会 事務局/木造町24 (株タック内) ☎264-0824

●貸し出し資料  
貸し出し資料がたくさん揃っています。事務局までお申し出ください。

●ビデオ  
九州間垣のまちづくりコンサ

参加、九月二十一日岐阜まちづくりネットワーク金華町めぐりと交流会、二十二日岐阜県市町村財政委員会現地調査団来協、二十九日岐阜公園問題勉強会開催、十月十一日環境基本計画意見交換会参加、十一月三日オリベイズム講演会と懇親会参加、四日金華地区歴史調査意見交換会参加、十二月二十日金華まちづくりガイドブック「華の基準」発刊。

●冊子  
雨の森の四季―ふるさとづくりの心を求めて  
地域づくり団体活動事例集「村おこし・町づくり」輝く人きらめく町  
真鶴町まちづくり条例「美の基準」  
岐阜市街地からの金華山景観に関する研究  
岐阜県110パブリックアートガイドブック  
散策ガイド「金華山と岐阜の街」  
モノづくりと町づくり「ポブラール・金沢」  
岐阜市環境基本計画素案



自然と活力に満ちた個性ある豊かな金華のまちづくりをめざして.....

# 金華まちづくり

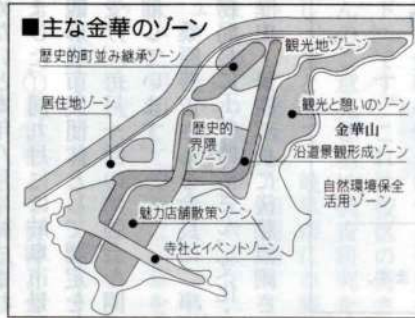
ニュース  
13

発行/金華のまちづくり協議会/1989年6月4日創刊/事務局/岐阜市木造町24(株)タック内・Tel.058-264-0824

高層建築物が金華地区の景観に一大変化をもたらす

このまま何もしないでいいのですか！

金華地区は一律のまちではなく、いろいろな顔と特徴をもったまちが集まっています。金華のまちづくり協議会ではその将来イメージの方向づけをしたのが次の図でした。



地区説明会や懇談会を開き、それぞれのまちに合ったゾーンの設定は、まちづくりの基本方向として合意ができた。平成三年には、金華の景観と建物の高さのアンケートでは「金華山が望める借景を大切にしたい」とありました。「まちづくり憲章」をあなたに読んでいる町会です。ありませんかという問いかけには関心がないとの自治会の返答が九割を越え、憲章ができたのは、木造町と末広町の二町のみで今日まで来ました。木造町の憲章には高さの制限があり守られています。また、同年の九月には、「住まいづくりのルール・八つの約束」が承認され、自然と歴史文化を活かすまちづくり構想の活用と運用が整いました。以来、今日までその進展を見るまでには至っていません。平成十三年に入り、にわかには

層建築物の計画が発表され、中竹屋町では十三階建てのマンションの建設が進みつつあります。当該町会にとっても周辺の町会にとっても大きな問題となり、まちづくりへの関心も高まって、その対策が問われています。金華にはこのほかにも、上材木町の日の丸タクシー長良橋営業所跡地約千五百平方メートルと湊町の旅館松げんの跡地約千七百五十平方メートルに「大京」(本社東京と名鉄不動産本社名古屋)がそれぞれ、十五階建ての分譲マンションの建設を発表しました。この地は金華山や岐阜城を望み、岐阜市の都市景観形成において「重要地域」とされ景観が一変するのは必至の状態です。

そこで、当該町で、町づくりに立ち上がった「米屋町まちづくり委員会」と「湊町・上材木町・御手洗・鏡岩」のまちづくりの活動を紹介します。本町に現在の状況のまま、何もなくていいののか、金華の住民がどのように住み、次代にどのように伝えていくのか検証してみました。

昭和六年一月、米屋町に住むの当時三十六歳の稲葉繁吉さんが、「岐阜米屋町史」の編集責任者に抜擢され、満四



中竹屋町に建設中のマンションのシュミレーション

年の年月を経て昭和十年一月十五日に完成発行されました。此米屋町史編集に就いては稲葉繁吉氏自力を以て編集し、印刷費は株式会社岐阜貯蓄銀行、日下部同族合資会社並に深尾登市氏等の寄附に依り出版せるものなり」と巻末に記されているように、古来から自分たちの住んでいる町に関心を持ち、江戸時代からの岐阜町の中心であったことに誇りを持つ町として、米屋町があります。

本年に入り、中竹屋町と米屋町にまたがる日下部泰雄さんの土地に高層マンション計画が立ち上がり、建設が進みつつあります。ここは、都市計画法で定める商業地域であり、課せられた規制はありますが、日陰規制などはなく、また、周囲と景観の異なる建物が建っても問題はない所です。どこでもそうであったように、この高層建築は中竹屋町、米屋町、大和町をはじめ、周囲の町会に大きな出来事として立ちほだかりました。このマンションの建設の二

棟目の建設が、金華に現存する古い商家とは異なった日本建築の日下部邸の取り壊しという問題も含んでいます。米屋町まちづくり委員会は、このキャッスルハイツ中竹屋町の一期工事建築問題がきっかけになり、環境保全や補償問題等にどまらず、これらによる負の影響だけを考えるのではなく「金華をこのままにしておいていいののか」、「自分たちは、今、何かをしなければいけないのではないか」という考えが、同町の自治会臨時



次代に残したい賀嶋勘太郎屋敷跡にある日下部邸

総会(自治会長藤本慶太郎さん)で審議され、「米屋町まちづくり憲章」の制定となりました。そして、この憲章の精神に沿って町民の融和と将来の発展につながるまちづくりを目指し、地域と連携した個性と魅力あふれる地域づくりを目標に委員会活動が始まりました。注目すべきは、ただマンション問題だけを考えるのではなく、積極的に地域のまちづくりを考えるという点に、町のもつ歴史と誇りに期待したいと思えます。

日下部邸を活かして地域の文化活動の拠点づくりが委員会活動のスタート



米屋町まちづくり委員会 委員長 川島兵太郎

委員長の川島兵太郎さんは、気負わなくてもよい。出来るか出来ないかは問題ではない。その気をおこして、行動をしたい。金華は、開発を進める所ではなく、守りながら増殖

させていく所だ。それにはまず、伝統のある町に住む者として、金華の古い町家と異なる町会にある日下部邸の保存の提唱をしたい。壊してしまうにはいかにももったいない。何とか残す方向で、今、日下部さんにお願いをしています。近々その返事があるので、その議題で委員会を開きたい。日下部邸を残すことが、金華の文化であり、金華の今後の良き前例となつて、金華の町づくりのお手本を示したい。それがこれからの米屋町の仕事だと思ふ。と熱く語られました。

伊奈波境界の賑わいを

米屋町、大和町、中竹屋町、伊奈波通り二丁目目で囲まれる街区の町づくりに広がっていきたい。これが「伊奈波境界の町づくり」、門前町の再興につながればとも語り続けられました。現在、伊奈波通り二丁目(自治会長中井教演さん)、三丁目(自治会長西野禎夫さん)の参道の街づくりと、大和間之町(自治会長棚橋芳男さん)も賛同の声があり、街区の街づくりへの期待がもてます。

### 米屋町まちづくり憲章

平成13年7月21日制定

地域の歴史の中心として発展してきた私たちの街『米屋町』は、地区環境を充分認識し、町民の融和と更なる発展につながるまちづくりを目指します。

1. 自然環境と文化の調和ある住環境と町並み景観を守り育て、住み良いまちづくりを目指します。
2. 社会生活の秩序とルールを尊重して、相互の連帯と協調のもとに、安全で健全な誰もが住みたいと思う環境づくりに努めます。
3. 町民のコミュニケーションや人間関係を守るため、地域の環境を破壊する7階建て(20m)以上の建築物や管理人不在の住宅などは認めません。
4. 次の世代へ発展継承する良い住環境を常に考えまちづくりを進めます。
5. 伊奈波神社の参道として、地域の町民と協力し合い外来者にも親しまれる平穏な温かいまちづくりに努めます。
6. 町内の駐車場の管理者は、事故防止に努め、特に車両の出入りや夜間の防犯に注意し、また、迷惑駐車のないように心がけ安全な街を目指します。
7. 新たな土地利用や建築計画に当たっては、事前に自治会に通知し、憲章を遵守し進めます。

# 金華を代表するまちづくりを、 歴史的町並み保存継承ゾーンで

湊町・玉井町・元浜町

## 川原町まちづくり会発足

### 景観を中心にしたまちづくりに 発展するの期待される……

第一回の「長良川プロムナード計画関連まちづくり懇談会」が開かれたのが、昨年の七月。この構成員九人の内五人が金華にいる人が、金華のまちづくり協議会会長の吉田豊さん懇談会会長、同伊藤泰雄事務局長、十八歳の伊藤善男さん、玉井屋の玉井博祐さん、市歴史博物館長の白水正さんの五人でした。その席、まちづくりは地元に住んでいる人が立ち上がらなければと話しになり、まさに地元の伊藤善男さんと玉井博祐さんが玉井町筋の皆さんに意見を聞いてみるという言葉が、「川原町まちづくり会」の発足の契機となりました。

古くは中川原と呼ばれ、長良川の水運を利用して集落が達して材木や和紙などの集散地として発展し、戦火をま

ぬがれたことにより格子づくりの町家が軒を連ねて歴史的町並み継承ゾーンとなっています。しかし、古い文化と営みを伝えていくところですが、常に水害を意識しなければなりません。

こうした町、湊町、玉井町、元浜町を対象にした活動は、地域住民が主体となり、良好な地域の生活環境と都市景観の形成を図り、地域の発展のために、住み易い魅力のある町に住む者が歴史と文化に誇りを持ってまちづくり活動に努めたいと本年八月に結成されました。同九月には岐阜市景観形成市民団体として認定を受け、毎月一回の勉強会を開催しています。



川原町まちづくり会  
事務局長 玉井博祐

川原町に住む誇りを自覚するために、自分たちの住んでいるところの歴史文化をまっすぐ勉強するところから進めます。岐阜といえば、ここというように常に注目を集めてきた町ですが、各機関に置いて多くの調査や研究がなされてきました。その資料が何も地元で報告されていない。もつと地元で還元されてもいいと思いますし、関心を示さなかつた私たちも悪い反省もしています。素晴らしい資産を持つた町に生まれ育つたことに誇りを持ってまちづくりに取り組んでいきたい。この町の宿命ともいえる水害対策

を無視にはできませんが、現況の中、道路が夜暗いということや町並みにふさわしい照明を考え、オブジェを沿道に展示しましたが、この町並みにはあまり細工をしたものは必要ないようです。電柱の地中化や舗装についても勉強は進めています。この舗装については、土を感じさせる舗装がということ、各地へ見学に行くことも計画しています。できることからというの大切なことで、祭日の国旗掲揚などは先ず行っています。足並みが揃うまでにはなっていない。まちづくりに対する思いやビジョンを明確にして、まちづくりに参加したいという高まりを大事にしたい。この高まりが必要で、愛知万博までには、ハード面については決着をしようともいっています。そして、この町に住む住民が生活文化を中心とし、景観を基調とした川原町にふさわしい「らしさ」づくりと憲章の制定に発展することを期待しています。

まちづくり会の活動計画について玉井博祐事務局長にお話を伺いました。

「わが町に誇りを持ってまちづくりに取り組みたい！」

### 川原町まちづくり会 歴史講演会

「岐阜城とまちづくり」  
講師 白水正氏（岐阜市歴史博物館館長）  
日時 11月23日（祝）13時30分  
場所 岐阜市歴史博物館（岐阜公園内）

### まちづくり憲章制定間近 中竹屋町の 建設現場の協定は 守られているのか

キャッスルハイツ中竹屋町の工事が進む中、同町会にかけてみました。各条項の誠意ある履行のために工事協定書は中竹屋町自治会・米屋町自治会と建築主の濃尾産業株式会社、施工者の大日本土木株式会社で協定を行い、十八条からなる協定がされました。外部景観については金華の町並みと調和することを第一とし、地元と事前に協議することとありますが、協定がどのように守られるかという監視団体が必要です。時には罰則規定も必要になります。例えば、工事時間の厳守など工事が遅れているからといって、協議なしに進められてはなんのため

### 上材木町・湊町・御手洗 まちづくり憲章 建物の高さ制限 二十メートル！

高層マンション建設予定の地元の上材木町・湊町・御手洗自治会に憲章ができました。高層建築物の建設がきっかけではありますが、金華山、長良川の膝元町会で、高さが一番の問題となり、既存の建物との兼ね合いもあるので三十一メートルで賛成、反対、条件付の中で二十メートルの条件で決まりました。しかし、緊急に作った憲章であることから、見直しを条件に賛同し、憲章ができあがりました。

町会に二つのマンション問題をかけ、景観を含めたまちづくりを将来に向けてどう考えるのか、対岸の火事ではなく、自分の住んでいるところの問題と意識して行動に移していくときが、今なのです。

**活動費と支援のお願い**  
情報を皆様様に提供して行くにも活動が必要で、ご支援のほどをよろしくお願ひ申し上げます。  
一年一口 三〇〇〇円

### 金華のまちづくり協議会収支決算書

平成10年11月1日～平成12年10月31日

収入の部	
繰越金	327,352
会費	54,000
広告費	0
雑収入	90
受取利息	167
合計	381,609
支出の部	
会議費	2,450
広報費	0
渉外費	24,000
通信費	0
資料印刷費	0
蔵管理費	1,7110
光熱費	19,083
事務用品費	977
事務所維持費	40,000
雑費	33,443
合計	137,063
繰越金	244,546

十六銀行岐阜中央支店普通預金に保管してあります。

## 蔵の小さなコンサート

小林史真ハーモニカの世界  
時代の記憶からまちづくり発見  
共演 アイリッシュ・ハーブ 片岡詩乃

まちづくりトーク  
「座敷わらし」を題材に  
クロマチック・ハーモニカと  
アイリッシュハーブの  
語りと演奏

12月7日[金]  
会場 まちづくりの蔵  
岐阜市中大桑町

18:00開場  
18:30演奏  
19:20交流  
19:45終了

申し込み締め切り 11月22日[木]

公共ホール音楽活性化事業

主催：金華のまちづくり協議会  
共催：財団法人岐阜市公共ホール管理財団

会場

定員 40名お申し込みは、下記まで（多数の場合抽せん）  
金華のまちづくり協議会事務局  
〒500-8086岐阜市木造町24（株タック内）  
往復ハガキかFAX.265-8120へ  
メールの方は tac2000y@jp.bigplanet.com

お振込先  
十六銀行岐阜中央支店  
金華のまちづくり協議会 会計 高木幹雄  
事務局 電話 二六四・〇八二四

# まちづくり憲章づくりのために 住まいづくり八つの約束を 活用するのは、今です。

自然と活力に満ちた個性ある金華のまちづくりをめざして……と平成元年にはじまった金華のまちづくり活動も十三年という年月が過ぎました。社会の進展は金華の町を大きく変化させています。高層建築物も増加し、駐車場は、町並みを崩しつつあります。金華のまちづくりのための「蔵」が整備され、オープンしました。地域住宅計画(HOPE計画)の策定と推進調査のためのワークショップによる懇談も多くの住民の参加を得て、「住まいづくり八つの約束」をまとめ、臨時総会で承認をいただき、金華の大きな枠組みができました。

「八つの約束」のほかに、すでに全戸配布済み(平成四年)の冊子も覚えていますか。「自然・歴史文化を活かす金華のまちづくり構想」と「新しい金華の住まいづくりガイド」です。これは校区の皆さんのご意見を基に調査研究をし、まとめて、岐阜市にお願いをして発行した印刷物です。まちづくり憲章づくりのマニユアルといつていいでしょう。大いに利用して素敵な金華をつくりませんか。



まちづくりの蔵での住まいづくりワークショップ

今すぐに取りかかれれば充分あなたの町に役に立つ憲章がつくれます。

## 住まいづくり「8つの約束」

- ①親世帯と子世帯とが、程良い距離を保ちながらプライバシーを守って暮らせる新しい形の大家族・多世帯型の住宅を工夫する。
- ②金華の伝統的な敷地形状を活かして、快適に生活できるように敷地の中に採光や通風に対する工夫や仕掛けを考える。
- ③金華地区の活性化を図るために、住宅以外の用途のスペースを用意していくことが必要である。住宅とその他の用途をどのように組み合わせるかを工夫することが課題である。
- ④敷地内に駐車場を設ける場合、町並みに配慮したつくり方をすること。同時に地域全体でまとまって確保するなどの方策も検討する。
- ⑤古い町並みがつくられた歴史的な景観から現代に活かせるものを学び、接する道路との関係や道路に面する建物の位置や高さなどを考慮して、新しい形での町並みづくりを考える。
- ⑥金華山から長良川への景観の連続性に配慮し、適切な建物の高さ等を考える。
- ⑦間口が狭く、奥行きが長い敷地がいくつあか集まると、土地利用の自由度が高くなり、豊かな空間が作りやすくなるので、共同化の可能性も考えておくことが重要である。
- ⑧小広場等の共有スペース、緑化スペースを創出する。共同化によってポケット広場や緑化スペースを創出し、地域に潤いのある空間を確保していく。

## 金華の景観について 岐阜市に聞いてみました。

岐阜駅地区、柳ヶ瀬地区、金華地区の三地区は岐阜市の活性化のための重要地点として注目され、多くの施策の実行がなされています。

金華地区でも高層建築物がその引き金になったことには違いありませんが、個々に憲章づくりが進み、町への関心が高まりつつあります。この憲章も現況には拘束力もなく、自分たちの町の主張として今後大きな力となります。

金華は多くの優れた資産を持っています。これらを活かし良好な金華地区をつくるべく、いくつかの地域特性と住民の意向によって将来イメージをつくり、地区ごとの整備の方法があります。

「金華山が望める借景と緑豊かで静かな暮らし」が皆さんの声の大半です。しかし、地区面積の約半分は「商業地域」になっており、突然隣りに高層建物が建ち、居住環境や景観が阻害されることになりま

す。単に建物の高さを一律に押さえこるだけで良好な暮らしや景観を保たれるわけではありません。高齢化と少子化による人口の減少は、地域の活力にも大きな影響を与えます。自分たちはどのように住むのか、建物の高さを制限するのではなく、どの高さで、どんな形で、どんな色で、を提案する時になったということとです。各町の実状や意向に基づきまちづくりを実現するために「憲章」や「協定」「地区計画」などでルールをつくり、土地の有効な利用と

## 良好な住宅地景観づくりを調和させて進めていくことがポイントです。

そこで、岐阜市のまちづくりの指針はどのようになっているのか、お尋ねしたところ「総合政策」、「景観整備」、「まちづくり」のそれぞれの課が、それぞれに担当している。行政窓口の一本化と一体化を構造改革を含めて今、検討中とのこと。現在行っていることは、都市景観市民団体の認定(金華では川原町まちづくり会を認定)、コンサルタントの派遣、景観アドバイザー制度や出前講座による職員の派遣などの支援活動をやっています。

景観アドバイザーの相談内容は、建築意匠関係を小川英明愛知産業大学造形学教授、デザイン・色彩関係を野村幸弘岐阜大学教育学部助教授、緑化関係を伊藤栄一岐阜大学農学部講師の三先生が担当し予約制(都市計画部景観整備課)で、無料で行っています。今、金華地区の個々でまちづくり憲章が制定されていますが、個々を弧にならないよ



岐阜市都市景観奨励賞受賞の「布武」(中竹屋町)

## マンシヨン業者について 金華は「最適地」

今日の社会状況で町並みに空き地が多くなっている中、駐車場として使われている内はまだいいとしても、ある日突然マンシヨンという話は、金華の場合どこにでも可能性がありそうです。たまたま、環境や景観に理解のある業者であればそれなりの対応ができるかと推察できますが、そうでないと全くお手上げの状態になってしまうかもしれません。業者にいわせると現在の金華地区は、最も建設の適地であり、多くの業者がねらっています。

まちづくりというルールに拘束力がない中で業者が入れば、かまわず破壊となってしまう。景観条例は一部にありますが、「その活動が、財産権を不当に制限することのないように……」とあるように抑止力にはなりません。

こういう状況を踏まえ、金華の景観は、どうあるべきかということ岐阜市として今は「自分たちの町は自分たちで守り育てていきたい」地域の人たちと行政が協働してまちづくりを進めていく時期だと考えていますし、地域への投げかけもしてきました。

## 強い規制をかけて 痛みを共有するのは 全ての面で規制緩和の方向である現在、規制を高めるために、そうとう数多くの人たちの合意が必要です。強い規制をかけるということは、自分の土地が売りづらくなったり、建て替えて前よりも小さくなる可能性が出たり、痛みを伴うものですし、次代のために必ずしも良いとはかぎりません。前記のまちづくりの冊子は多くの示唆をしています。もう一度読み返してみてください、どのように活用するのか住民にとつて分かり易く、具体的な情報提供が必要であり、運用の仕方の合意をつくらなければいけないでしょう。

情報の開示はもろろんのこと、人口減少の中、高いものはダメというスタンスではなく、積極的にマンシヨンを誘致する。ここにこんな土地があります。建て方や高さなど条件がありますが、守っていただける業者さんはどうぞと情報公開をしますので、誘致を行政も支援してください。というまちづくりを考えてもいいのではないのでしょうか。

それなら  
条件を付けた  
積極誘致で  
人口増をねらうか?

情報の開示はもろろんのこと、人口減少の中、高いものはダメというスタンスではなく、積極的にマンシヨンを誘致する。ここにこんな土地

があります。建て方や高さなど条件がありますが、守っていただける業者さんはどうぞと情報公開をしますので、誘致を行政も支援してくださいというまちづくりを考えてもいいのではないのでしょうか。

憲章づくりが一步であるけれども、住民サイドが明確に声を出して欲しいし、金華のまちづくり協議会が、個々のまちづくり活動や憲章づくりのお手伝いをし、岐阜市がそれをバックアップしていく、金華地区の憲章づくりへと発して、有効な制度が整うことを期待しているとのことでした。

### ■金華小学校「町めぐり」豊かな郷土愛の育成を願って

金華の歴史・人・文化に触れ、郷土をより深く理解する。金華の町を見つめ、地域に親しみや誇りを持つ。地域社会の一員として地域の人々とともに金華の町を大切に、地域を考える。をねらいに始まった金華小学校「金華の町めぐり」が去る十月十三日に行われた。好天に恵まれ、「おはよう」という吉田豊協議会会長の大きな声で子どもたちは協議会会員に引率され、六つのコースに元気に出かけ、まちづくりの蔵の草引きをして終了しました。ご協力いただいたお店や皆様にお礼を申し上げます。



本町5の松野豆腐店で説明を熱心に聞く1年生

## 金華地区の商業地域と金華山と景観の相関関係 こんなにマンシジョンが建てられます。

金華地区の景観で一番問題になるのは、建物の高さです。高いものがダメというのではなく、どのように調和させるかということです。

良好な金華山景観保全の三条件は、①金華山全体が見渡

しておく必要があります。どのように考えるのかを含めて突然隣りに高層建築物が建つことを知っておいてください。下図は、金華地区の高層建築物を建てられる所です。

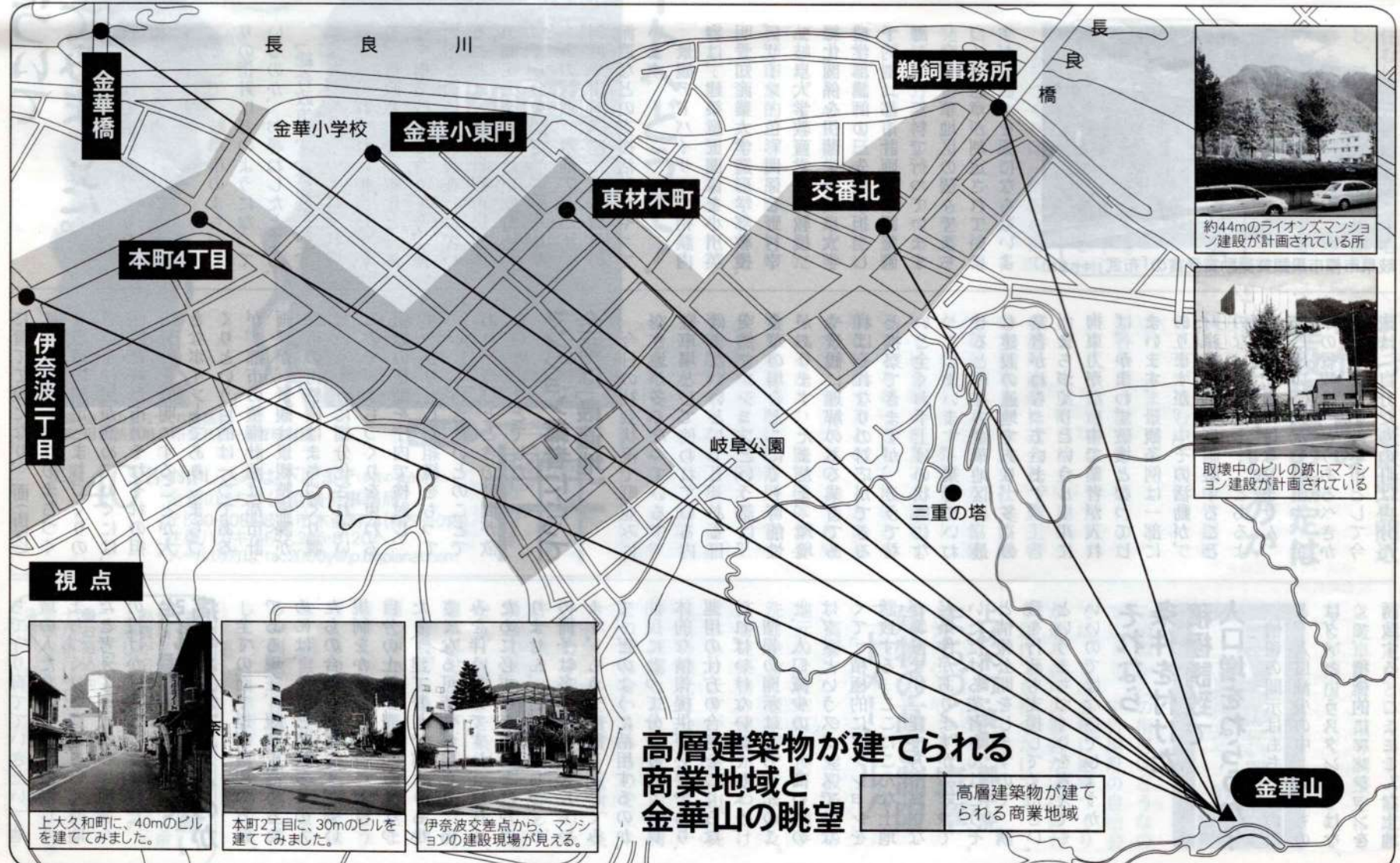
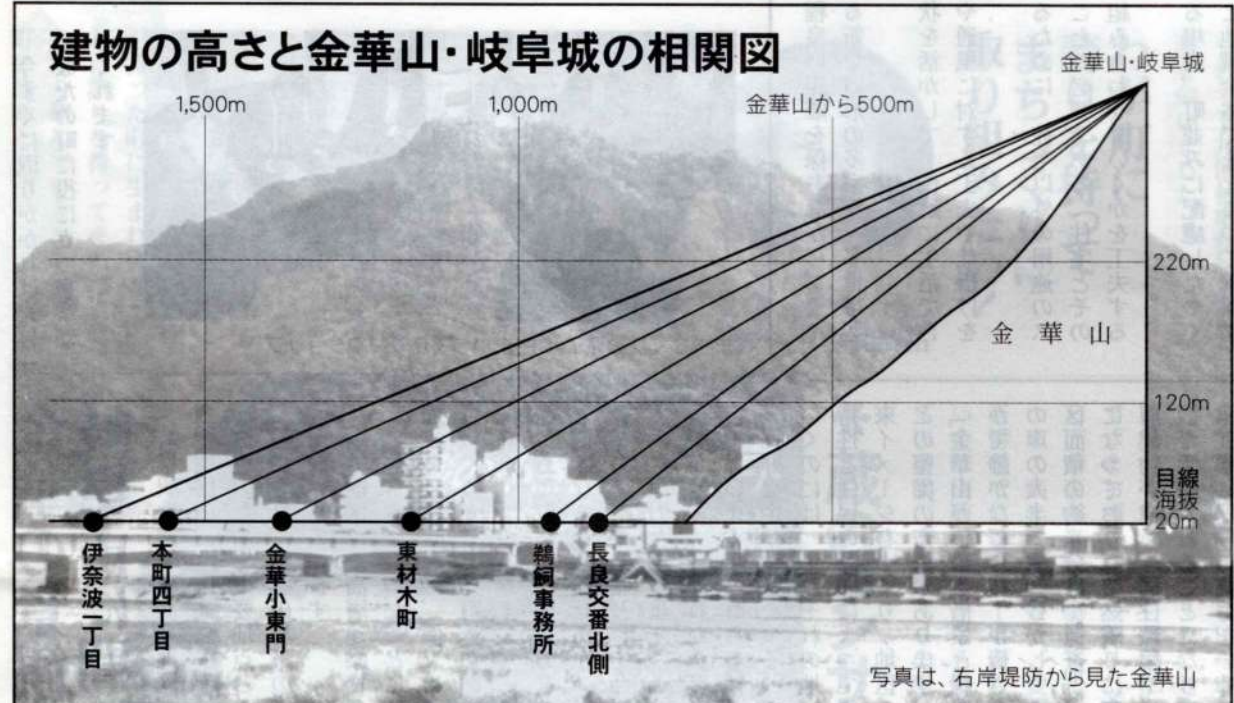
また、左図は人間が立った位置から金華山を眺め、建物の高さを考えるための相関図です。眺める位置によってその大きさが違い、景観も変化します。個々の見方も必要ですが、金華地区全体、岐阜市としての金華地区も考える必要があります。



住民が望んでいる6階建て以下で、規制・誘導した建物の高さをイメージした景観

現況の金華山の見える長良橋通り

指定容積400%上限で建設したときをイメージした景観



約44mのライオンズマンション建設が計画されている所



取壊中のビル跡にマンション建設が計画されている

### 高層建築物が建てられる商業地域と金華山の眺望

高層建築物が建てられる商業地域

金華山